

1998年度 文教大学生生活科学研究所

学習グループ活動記録

◇泉 グループ 担当： 泉 敬子（文教大学教育学部名誉教授）

補助： 佐藤ひろみ・多田圭子

メンバー：19名

活動日： 前期第3火曜日・後期第4月曜日（除8月）

活動内容：本年度は前期は「食材」、特に野菜について学習した。

4月28日・野菜類全般について ・根菜類（大根・かぶ）

5月26日・根菜類（人じん・ごぼう）

・現代のフランス料理 健康志向になって来ている。

6月23日・果菜類（かぼちゃ・なす・トマトなど）

・地中海風食事法の原点 南イタリアの伝統料理

9月28日・越谷市大花亭にて懐石料理の献立・食材・調理法・盛りつけ等について勉強しながら、試食を行った。

10月5日・ブドウ酒について 種類・効用・味に関してレクチャーを行った。

11月16日・モンゴルの馬乳酒文化

1月25日・インド東北部の発酵食品

*上記に加え、7月には生活科学研究所主催の公開講座、12月には同研究発表会を聴講した。

◇蒲生グループ 担当： 蒲生 不二男（文教大学教育学部教授）

補助： 清水美津子

メンバー：6名

活動日： 第2・4木曜日（1998年4月～1999年1月 全13回）

活動内容：学習グループであるホームマネジメント・スクールの発足は平成元年であり、10年が経過した。そのうち、読書会形式での活動は5年間。平成10年度からは、今までの活動の節として、ものの考え方、行動のパターン、方針を検討し、ホームマネジメント・スクールで学習した事を、これからの自分に対してどのように生かしてゆくかという視点から、自分史または体験記等、各自文章にしていくという活動となった。大きな課題なので、各自が少しずつ書いた文章を蒲生教授が見て、ヒントを与え、それを元にさらに本人が文章を練り直すという形式をとっている。平成11年度は、練り上げた文章にタイトルをつけ、各自ワープロで打ち、製本してゆくという作業をし、完成させていく予定である。生徒である6人は、生活体験豊富なので、内容の濃い冊子になると思われる。